

GTEC通信 vol.89

自由度の高いスピーキングの指導により
将来役立つプレゼンテーションの技能を育成

長崎県立長崎東高等学校

1948（昭和23）年に開校した。自由で個性を重んじる校風の表れとして、開校以来、校訓は存在せず、生徒には伝統を踏まえ、同校の生徒らしく考え行動することを求めている。2004（平成16）年度に併設型中高一貫校として新たなスタートを切り、中学・高校を合わせて約1,200名の生徒が学んでいる。

基本情報：公立、共学、普通科

規模：1学年約280名

主な進路：国公立大は、東京大、京都大、大阪大、九州大、熊本大、長崎大などに246名が合格（2014年度入試）。

取り組みのポイント

- 文法の説明を短縮し、音読などの活動時間を確保する。
- プレゼンテーションの発表では内容や時間に制約を設けず、生徒に創造性を発揮させる。
- 教師は発表者を褒めることに徹し、表現力や語彙力の習得など様々な学習への意欲を高める。

取り組みの背景

同校の英語科では、従来より、音読をはじめとした活動重視の授業を行ってきた。しかし、教科書のテキストを再生するだけではクリエイティビティに欠けるという課題意識があったという。英語科主任の一ノ瀬憲二先生は、「プラスアルファの要素を模索していた時、筑波大学附属高校の生徒が自由にスピーキングをする授業を見学して素晴らしいと感じ、本校の生徒に合わせた形で取り入れたいと考えました」と語る。

長崎東高校は、2014年度、「SGHアソシエイト」に選定され、グローバル・リーダー育成に資する教育の開発・実践に取り組んでいたこと、また、2015年度、グローバル人材の育成を目的として県内初の国際科を新設することもあり、国際科準備主任となる一ノ瀬先生が中心となり、現1学年の英語の授業にプレゼンテーションを取り入れ、スピーキング力を高める指導を開始した。

取り組みの詳細

1レッスン各パート2コマを基本に
生徒の理解度に応じて進度を調整

シラバスの作成時、1学年を担当する4名の英語教師が話し合い、目標として「将来社会人として必要なプレゼンテーションの技能を高める」を掲げた。「生徒は文系、理系どちらに進むにしても、将来、プレゼンテーションすることを求められる場面は必ずあるはず。その時に、この指

導が役立ってほしいと考えています」（一ノ瀬先生）。

1年次では主に身近なことを話せるようになること、2年次以降は徐々に社会問題などの高度な話題を扱えるようになることを目標とした。シラバスは生徒に配布し、年間の見通しと目標を持たせるとともに、教師間の目線合わせに活用することにした（資料1）。

1年次のプレゼンテーションの指導は、主として「コミュニケーション英語Ⅰ」で行っている。題材は教科書から取り、1レッスンの各パートに2コマを充てる。「進度はゆっくりでも、着実に力を付けることを優先しています。生徒の理解度によっては、3コマを充てる場合もあります」（一ノ瀬先生）。

また、教師によって進度や内容に大きな差が生じないように、全ての授業で共通のワークシートを使っている。ワークシートなどの教材は、4名の教師が分担して作成する。

教師のプレゼンテーションにより 生徒の意欲や関心を高める

2コマの授業の流れを見ていこう。1コマ目の準備として、新しいパートに入る前の授業の最後で、教師は次のパートを予告するプレゼンテーションを行う。その際に使用するのが、絵や写真、キーワードなどを交えてパートのサマリーを説明する「マッピングシート」だ（資料2）。

教師のプレゼンテーションを踏まえ、生徒は家庭で予習に取り組む。予習は、レッスン本文の全文訳、および教師が作成した授業ワークシート（資料3左）のQ&AとT or F問題を課している。「まず教師のプレゼンテーションによって次のパートへの意欲や関心を高めるのがポイントです。生徒には予習を楽にしたいという思いもありますから、集中してプレゼンテーションを聴きます。また、レッスン全体を意識しながら訳すことができ、『木を見て森を見ず』のような状況になりづらいと考えています。さらに、教師のプレゼンテーションは、後に生徒自身のプレゼンテーションの参考にもなるはずですよ」（一ノ瀬先生）。

予習で全文訳を課するのは、自分が分からない箇所を明確にさせること、また学習習慣を定着させるのが狙いだ。さらに全文訳に加え、Q&AとT or F問題にも取り組むというように、生徒は少なくとも3回は本文を精読した状態で授業に臨む。

文法の説明は最小限にとどめ 音読などの活動時間を確保

1コマ目では、授業の冒頭にレッスン本文の訳を配布し、予習内容と照らし合わせた後、ペアになってQ&AとT or F問題の答え合わせをさせる。教師はその間、机間を巡視しながら予習の取り組み状況や理解度を確認し、間違いが多かった箇所などを解説。その後、レッスン本文の音声を聴かせて、新出単語の確認をする。

そして残り20分ほどはペアを組み、ワークシートを用いて1人20回ほど、レッスン本文の音読をする。音読用のワークシートは、虫食いになったものや一部が日本語になったものなど、6パターンを用意している（資料4）。「文法は『英語表現Ⅰ』で指導するため、『コミュニケーションⅠ』では最小限の説明に留めています。予習プリントの中で『Target sentences』として重要な構文を解説しているのも、授業内で音読などの活動に多くの時間を割くためです」（一ノ瀬先生）。

プレゼンテーションの方法などは 生徒の創造性に委ねる

2コマ目では、授業ワークシート右（資料3右）を使い、語彙チェックや空欄を埋める形式のサマリー作成に取り組む。サマリー作成では、あえて一部の単語を同じ意味の別の単語に置き換え、語彙力の向上に努めている。プレゼンテーションでの表現の幅が広がることから、生徒は語彙を増やすことに積極的だ。

さらにワークシートには、授業に関連する入試問題を必ず入れている。「コミュニケーション中心の授業は大学入試につながらないのではないかと、不安を抱く生徒もいます。しかし、コミュニケーション力の育成と大学入試への対応は両立するものでなくてはなりません。その日の授業が入試にもつながっていると伝えるために、入試問題を解かせています」（一ノ瀬先生）。

続いて、ペアを組みマッピングシートを用いて各々プレゼンテーションを行う。それにより、生徒はテーマへの関心をより深めたり、難しい点を把握する。最後には、出席番号順で事前に指名された3名の生徒がクラスを前にしてプレゼンテーションの発表を行う。事前にペアでプレゼンテーションを行わせることで、発表内容に注意深く耳を傾けることにつながり、また発表者にとっては良い練習の機会になる。

プレゼンテーションの方法や時間は、敢えて制約を設けず、生徒の創造性に委ねている。例えば、聞き手に質問を投げかけて対話したり、寸劇を交えたりと様々なスタイルが見られ、内容も単にレッスンの本文のサマリーを話すのではなく、自分がリサーチした内容を加えたり、「このほうが面白いから」と、本文の構成を自分なりに入れ替えたり、あえて本文とは異なる表現方法を使う生徒もいる。発表時間の平均は3分ほどだが、メモを持たずに5分近く話し続ける生徒もいるという。「生徒の工夫に驚かされることがたびたびあります。自分なりの表現を楽しんでいるからこそ、多様なプレゼンテーションが生まれるのだと思います」（一ノ瀬先生）。

発表を聞く生徒は、コメントシートに良かった点や改善できそうな点を記入し、内容・声の大きさ・目線・ジェスチャーなどの項目を4段階で評価（資料5）。授業後、全員分のコメントシートは発表した生徒に渡している。

発表は教師がタブレット端末で録画し、前回と見比べることで成長の様子がよく分かるようにしている。録画したデータは、希望した生徒に渡すほか、担任の教師や保護者と共有することもある。

2コマ目の授業の最後はレッスンのテーマについて、2分間で自分の考えを頭の中でまとめ、ペアの生徒と伝え合い、その後、ライティングをする。考えを伝え合う際、聞き手は1分間で何語を話したかをカウンターを用いて計測する。生徒によっては1分間で90語近く話す生徒もでてきたとのことだ。

表現を楽しむ生徒の気持ちを伸ばそうと 教師は発表者を褒めることに徹する

教師による評価方法にも工夫が見られる。例えば、教師は良い点や工夫した点を見つけて発表者を褒めることに徹し、発表自体はあえて評価の対象としないのである。「評価することで生徒が縛りを感じるおそれがあります。自由な表現を楽しむことでプレゼンテーションの力を高めてほしいと考えました。『今こういう工夫をしていたね』と褒めるとその生徒は本当に嬉しそうな表情をします。現状では、生徒同士が率直に評価し合っていることも、盛り上がる要因となっていると感じます」（一ノ瀬先生）。

一方、定期考査では、レッスン本文のプレゼンテーション原稿を穴埋めする問題を課し、内容理解を評価すると同時に、プレゼンテーションにおける表現力向上を狙う（資料6）。

取り組みの成果と今後に向けて

クラス全員の前での発表は、全員が1年間で2回経験する。1回目と2回目を比べると、成長の大きさは一目瞭然だ。人前で英語を話すことに慣れるとともに、他の生徒の発表を参考にしたり、英語力が高まったりすることで、プレゼンテーションの内容は向上する。情報の授業や学年集会でプレゼンテーションをする機会があることで相乗効果も生まれているようだ。授業中だけではなく、マレーシアから修学旅行で来日した生徒と交流会を開催した際には、積極的に英語を使って会話をする姿が見られた。また、長崎県英語ディベート大会では、見事に優勝した。

GTECの結果を見ると、過年度に比べ、特にリスニングの力が大きく伸びた（資料7）。これ

は他の生徒のプレゼンテーションを真剣に聴く機会が多いことが要因の一つと捉えている。また進研模試のリスニングも、県内の公立高校で最も高い成績だった。

既にプレゼンテーションの中で社会問題などに言及する生徒もいるが、今後はより多くの生徒の発表に社会性を持たせ、プレゼンテーションの深みを増す指導に力を入れる方針だ。また発表後の質疑応答など、より即興性の高いスピーキング活動も取り入れたいと考えている。

スピーキングと並行し、リーディングの力も伸ばすため、週末講座や家庭学習での課題などを通じて多読にも取り組んでいく。

【資料1】シラバス

英語力の養成は「チームひがし」にお任せ！
★選習クラス（5組・6組・7組）用

69回生 合格シラバス Chance(学習機会を逃さない)

Challenge(難題にひるまない)

Change(今の自分に満足しない)

私の決意：私の夢（

）合格を実現するために、（

）を努力することを自分の心に誓います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
★校内テスト ◆対外実力	★課題(4/9) ◆スタサボ(4/29)	★中間考査 ◆駿台ハイ(6/7) ★第1回考査	◆駿台ハイ(6/7) ★第1回考査	◆GTEC(7/6) ◆進研(7/12)	★実力(8/21)	★第2回考査	◆進研(10/25)	◆駿台ハイ(11/3) ★第3回考査	◆GTEC(12/13) ◆県一(12/20)	★校内(1/9) ◆進研(1/24) ◆学研ハイ(1/31)	★第4回考査	◆スタサボ(3/14)
テキスト	CROWN Lesson 1	Lesson 2, Lesson 3	Lesson 4	Lesson 5	Lesson 6, Lesson 7	Lesson 8, Lesson 9	Lesson 10					
サブテキスト(授業)	Change the World [Basic] Unit 5, Unit 6 進研過去問1年分		GTEC 過去問	Crossbeam PS Chapter 1 ~ 4								
語彙	ユメタン0 Unit 4 ~ Unit 5)		Unit 6 ~ Unit 8	Unit 4 (phrases)	Unit 5 (phrases)	Unit 6 (phrases)	Unit 7 (phrases)	Unit 8 (phrases)	Unit 1 ~ 3 キクタンリーディング	Unit 4 ~ 8 Basic 4000		
演習(補習)	Change the World [Basic] Unit 1, Unit 3		Unit 7 ~ Unit 11	Crossbeam PS Chapter 5								
課題	東志行期間中 → 課題テスト訂正 Forest 暗唱例文 1 ~ 58 GW 期間中 → Unit 1, 2, 教科書課末問題 高総体期間中 → 駿台ハイレベルか 進研過去問1年分		Change the World Unit 12 ~ 15 Forest 暗唱例文書写 1 ~ 146 ユメタン Unit 4 ~ 8 の復習	Crossbeam PS Chapter 1 ~ 4 (週末課題)								
自主課題	①内進 → キクタンでレベルの高い単語を覚える。長文の反復。 ②高進 → Forest の習った範囲をしっかりと読み込む。長文の反復。											
留意点	①基礎(単語・品詞も)・文法・構文分析)をきちんとやる ②意味を考えながら音読する ③教材の再読・復習を効率よく効果的にやる(苦手をぶつぶす)											
学習アドバイス	①家庭学習は、復習(音読など10分) → 予習(40分) → 単語10分の順 ②授業中はノートではなく、脳に記憶する ③ユメタンやサブテキストで出現した単語を確実に表現として使えるようにしよう！ ④長文を読み飛ばさずにするのは愚骨頂です。習ったその日に読み返そう！ ⑤対外実力テストの前は、「Forest」と「Change the World」を復習しよう。特に文法は何度も読み込むことで、「体系的」に完成します。 ⑥課題は「最低限のやるべきこと」です。常に主体的なブラサルアラファを継続しよう！											
メッセージ												
テキスト	Crown English Expression I Lesson 1 ~ 5	Lesson 6 Presentation		Lesson 7 Presentation	Lesson 8 9 Presentation	Lesson 10 11 Presentation	Lesson 12 Presentation	Lesson 13 14 Presentation	Lesson 15 16 Presentation	Speaking 678 Presentation		
サブテキスト	Forest (分厚い) 1文の種類 23 動詞と文型 45 動詞と時制 67 完了形 89 10 Plus 助動詞 Forest Overview 1112 態			1314 15 Plus 不定詞	1617 動名詞	1819 Plus 分詞	2021 Plus 比較 2223 関係詞	24 Plus 関係詞 2526 仮定法	27 Plus 否定 2829 接続詞	30 Plus 時制の一致と語法		
サブテキスト	Hyper Listening Elementary Lesson 1 ~ 13	Smart Reader 1 ~ 8		Hyper Listening Lesson 14 ~ 20	Hyper Listening Lesson 1 ~ 28							
留意点	① ALT との TT で実用的な英語力を高める											
学習アドバイス	①文法は愚直に反復し、Smart Reader で難関穴敵に必要な精読(和訳)力を高める ②リスニングは大きな内容を聞き取る											
メッセージ	①中学の文法が理解できていなくても、基礎から授業で教えるので大丈夫です ②文法は理解し、暗記し、使って(演習して)みることで定着します。 授業に集中し、演習に励みましょう											

【資料2】マッピングシート

Nearly everyone



helps us (to) ...

But some people...



no longer



2008 Nicholas Carr



essay



CHANGE
THE WAY YOU
THINK

Recently



w...<be replaced> w...



= if

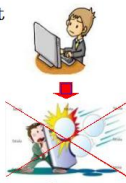


thinks



But

≠



have changed



since



most of reading



as much as



lose

gain

【資料3】授業ワークシート

Lesson 9 Paddling a Log?

Section 1 Pre-lesson worksheet

◆ Q&A

- What do some people worry if we keep using the Internet?
- They worry that () .
- What does Nicholas Carr think the Internet is doing?
- He thinks that () .
- Why did the American school decide that its library books would be replaced with computers?
- Because it thinks that () .
- According to Carr, what is the bad point of a computer?
- () ; it adds to them.

● Target Sentences

- But some people worry that we may no longer be able to think deeply and focus our attention for a long time.
「～する人もいる」 もはや～ない (≠ not ~ any longer / not ~ any more)
- Recently an American school announced that its library books would be replaced with computers.
※この would は【過去における未来】
助動詞 + be p.p. 例 must be p.p. ~されなければいけない、~されるにちがいない
can be p.p. ~されることができる

◆ True or False Questions

- The Internet seems to have both good points and bad points. [T / F]
- Nicholas Carr wrote an essay for Google. [T / F]
- An American school said that it was going to replace its library books with computers. [T / F]
- Using the Web has made it difficult for Carr to keep concentrating his mind. [T / F]

Section 1 Post-lesson worksheet

◆ Vocabulary Drills

- () - a thing that takes your attention away from what you are doing or thinking about
 - () - a part of the trunk or a large branch of a tree that has fallen or been cut off
 - () - the act of doing something carefully
 - () - to bring things together that have been spread around
 - () - foolish, silly
- [log gather distraction attention stupid]

◆ Summary

Nicholas Carr believes that the Internet is changing the () people think. He thinks that there is a big () between reading on a computer and reading a book. He says that a book () our attention, but a computer only adds to our (). He believes that reading on line has changed his (), and feels that he is becoming (1) able to focus his mind for a long time.

★ Write about some bad points on the Web following the sentence "Children should not use the Web."

● Challenge!

1 "Where is the report I asked for?"

"That should () care of by Jack last week."

- ① be taken ② be taking ③ have been taken ④ take

(センター)

2 They used to be good friends, but they aren't () .

(センター)

- ① no longer ② moreover ③ anymore ④ so long

【資料４】音読ワークシート

Lesson9 Paddling a Long?
Section1 Reading Worksheet
①Original



Nearly everyone agrees that the Internet helps us to gather information. But some people worry that we may no longer be able to think deeply and focus our attention for a long time.

In 2008 the writer Nicholas Carr wrote an essay, “Is Google Making Us Stupid?” He says that the Internet is changing the way we think.

“Recently an American school announced that its library books would be replaced with computers. The school thinks that the words in books are the same if they appear on paper or on a computer. But reading on a computer is very different from reading a book. A book focuses our attention, keeping us from distractions. A computer does not protect us from distractions; it adds to them.

“My own reading and thinking have changed greatly since I started using the Web. I now do most of my reading on line, and my brain has changed as a result. I am less able to focus my attention for a long time. Using the Internet, we are losing at least as much as we are gaining.”

②Standard

Nearly everyone agrees that the Internet helps us to () information. But some people worry that we may no () be able to think deeply and () our attention for a long time.

In 2008 the writer Nicholas Carr wrote an essay, “Is Google Making Us ()?” He says that the Internet is changing the () we think.

“Recently an American school () that its library books would be () with computers. The school thinks that the words in books are the same if they () on paper or on a computer. But reading on a computer is very () from reading a book. A book focuses our attention, keeping us from (d s). A computer does not protect us from distractions; it () to them.

“My own reading and thinking have changed () since I started using the Web. I now do most of my reading () line, and my brain has changed as a (). I am (l) able to focus my attention for a long time. Using the Internet, we are losing at least as much as we are ().”

③Advanced

(N) everyone agrees that the Internet helps us to () information. But some people worry that we may no () be able to think () and () our attention for a long time.

In 2008 the writer Nicholas Carr wrote an (), “Is Google Making Us ()?” He says that the Internet is changing the () we think.

“(R) an American school () that its library books () be () with computers. The school thinks that the words in books are the () if they () on paper or on a computer. But reading on a computer is very () from reading a book. A book focuses our (), (k) us from (). A computer does not (p) us from distractions; it () to them.

“My own reading and thinking have changed () since I started using the Web. I now do () of my reading () line, and my (b) has changed () a result. I am () able to focus my attention () a long time. (U) the Internet, we are losing at least as () as we are ().”

④Content word

Nearly everyone () that the Internet helps us to () information. But some people worry that we may no longer be able to think () and focus our () for a long time.

In 2008 the writer Nicholas Carr wrote an (), “Is Google Making Us ()?” He says that the Internet is changing the () we think.

“Recently an American school () that its library books would be () with computers. The school thinks that the words in books are the () if they () on paper or on a computer. But reading on a computer is very () from reading a book. A book focuses our (), keeping us from (). A computer does not () us from distractions; it () to them.

“My own reading and thinking have () greatly since I started using the Web. I now do most of my reading on line, and my brain has changed as a (). I am () able to focus my attention for a () time. Using the Internet, we are () at least as () as we are gaining.”

⑤Functional word

Nearly everyone agrees that () Internet helps us () gather information. But some people worry that we may () longer be able to think deeply and focus our attention () a long time.

In 2008 the writer Nicholas Carr wrote () essay, “Is Google Making Us Stupid?” He says that the Internet is changing () way we think.

“Recently an American school announced that its library books would () replaced () computers. The school thinks that the words in books are the same () they appear on paper or on a computer. But reading on a computer is very different () reading a book. A book focuses our attention, keeping us () distractions. A computer does not protect us () distractions; it adds () them.

“My own reading and thinking have changed greatly () I started using the Web. I now do most () my reading () line, and my brain has changed () a result. I am less able () focus my attention () a long time. Using the Internet, we are losing () least as much as we are gaining.”

⑥Reading with Japanese phrases

Nearly everyone agrees that the Internet 私達が情報を集めるのに役立つ. But some people worry 私たちはもはや深く考えることができないかもしれない and focus our attention for a long time.

In 2008 the writer Nicholas Carr wrote an essay, “Is Google Making Us Stupid?” He says that インターネットが私たちが思考する方法を変えつつある.

“Recently an American school announced that その学校の図書館の蔵書はコンピュータに取り替えられるだろうと. The school thinks that the words in books are the same それらが紙の上に現れようとコンピューターの(画面)上に現れようと. But reading on a computer is very different from reading a book. A book focuses our attention, 気が散らないようにする. A computer does not protect us from distractions; それはそれら(気が散ること)を増す.

“My own reading and thinking 大きく変わってしまった since I started using the Web. I now do most of my reading on line, and my brain has changed その結果. I am less able to focus my attention for a long time. Using the Internet, we are losing 少なくとも得ているものと同じくらい多くのものを.”

【資料５】評価シート

COMMENT SHEET

Date:_____

Presenter's Name []

Evaluation (評価)		A- Excellent	B- Good	C- Fair
Contents (本文+質問やリサーチしたものを取り入れているか)				
Clarity (声量、発音、リズム、抑揚は適切か)				
Eye Contact (原稿ではなく聴衆を見ているか)				
Delivery (ジェスチャーなどを用いて伝えようとしているか)				
Comments (G = Good Points S = Suggestions for Improvement)				
★日本語でもよい				
G				
S				

Class () No. () Name ()

【資料 6】定期考査問題例

定期考査問題例①

Nearly everyone agrees that the Internet helps us to gather information. But some people worry that we may no longer be able to think deeply and focus our attention for a long time.

In 2008 the writer Nicholas Carr wrote an essay, “Is Google Making Us Stupid?” He says that the Internet is changing the way we think.

“Recently an American school announced that its library books would be replaced with computers. The school thinks that the words in books are the same if they appear on paper or on a computer. But reading on a computer is very different from reading a book. A book focuses our attention, keeping us from distractions. A computer does not protect us from distractions; it adds to them

“My own reading and thinking have changed greatly since I started using the Web. I now do most of my reading on line, and my brain has changed as a result. I am less able to focus my attention for a long time. Using the Internet, we are losing at least as much as we are gaining.”

Simon Baron-Cohen, a psychologist at Cambridge University, agrees with Carr that the Internet distracts us from more important activities.

“I was surprised to find that I send about 18,250 e-mail messages each year (about 50 a day). Each message takes three minutes; that means I spend about 1,000 hours a year on e-mail alone. Was that time well spent?

“The answer is both yes and no. Yes, I have been able to keep in touch with family and friends and have completed projects with teams located in cities around the world. But while these are good points about e-mail, there are bad points too.

“We all know that e-mail is addictive. Each time a message arrives, there's a chance it might bring something exciting, new, and special. But maybe one in 100 has something I really want to know. That means that perhaps only 10 out of the 1,000 hours I spent on e-mail this year were worthwhile.

“Too many e-mail messages interfere with real work. We should become aware of the effect e-mail has on us and decide if we really want to spend so many hours on e-mail, instead of on more valuable activities.”

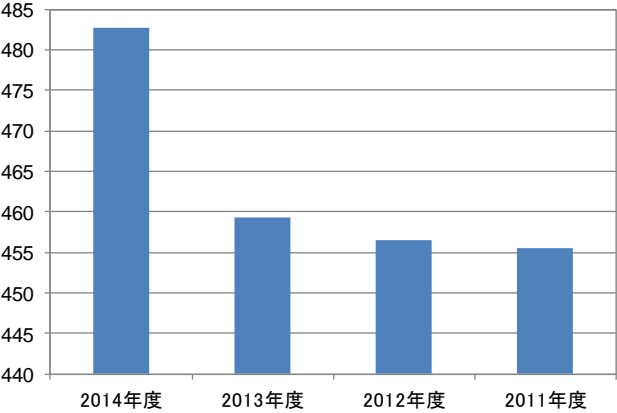
After Genzo learned about the Internet in this lesson, he is going to make a speech about it in the class. Here is his speech script. Please fill in the blanks and complete it.

(このレッスンで学んだ内容を踏まえ、源藏君がクラスでインターネットに関するスピーチを行うことになりました。以下は源藏君の作ったスピーチの原稿です。本文の内容を踏まえて、空所をうめ原稿を完成させなさい。)

Hello, everyone. Today, I'm going to talk about the Internet. There are good points and bad points about the Internet. It is easy for you to (1)() if you use the Internet instead of using the library. E-mail makes it possible for you to (2)()() family and friends when you are abroad. In addition, you can (3) with people around the world. On the other hand, some people worry that it prevents you from (4) deeply and concentrating because a computer adds to (5). An expert also points out that you may spend so many hours on e-mail that you may (6) your important time to do valuable activities. When you use the Internet next time, please think about both the good points and bad points and use it wisely .

【資料 7】GTECスコア過年度比較（高1年次 12月時点）

Total



Listening

